

平成 29 年度決算に係る
定期監査調書

平成 30 年 7 月

埋蔵文化財センター

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	16頁
8	収入事務処理状況調べ	16頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	17頁
10	未収金回収促進のための取組状況調べ	18頁
11	不納欠損額調べ	18頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	19頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	22頁
14	財産に関する調べ	23頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
15	財産の貸付け及び使用許可調べ	26頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	29頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	29頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	寄附物件の受納状況調べ	31頁
19	備品の処分状況調べ	31頁
20	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	31頁
	(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	
	(2) 物品の照合	
21	埋蔵文化財の調査と研究	32頁
22	埋蔵文化財保護思想の普及状況	33頁
23	埋蔵文化財関係職員等の研修	36頁
24	文化財保護の資料収集及び活用状況	36頁
25	出土品の整理及び公開状況	36頁
○	意見、要望等	39頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課 名	係(担当)名	課 の 主 な 所 掌 事 務
埋蔵文化財センター	総務担当	<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財の調査研究に関すること ・埋蔵文化財関係職員その他関係者の研修に関すること ・埋蔵文化財の発掘調査及び保存に係る指導及び助言に関すること ・出土品の整理及び公開に関すること ・埋蔵文化財発掘調査に係る記録の収集整理に関すること ・その他埋蔵文化財の保存及び活用を図るために必要な事項に関すること
	企画研究担当	
	青谷上寺地遺跡調査整備担当	
	発掘事業室	

4 職員の定員、現員調べ

(平成30年4月1日現在)

種 別 区 分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	29. 4. 1 現 在	当 該 年 度	29. 4. 1 現 在	当 該 年 度	29. 4. 1 現 在	当 該 年 度	29. 4. 1 現 在	
定 員	27	27	0	0	0	0	27	27	
現 員	(1) 27	26	0	0	0	0	(1) 27	26	() は休職で内数
過不足(△)	0	△1	0	0	0	0	0	△1	
臨 時 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非 常 勤 職 員	2	3	0	0	0	0	2	3	一般事務
	0	1	0	0	0	0	0	1	事務補助
	1	1	0	0	0	0	1	1	発掘調査員
	1	0	0	0	0	0	1	0	文化財主事
	1	0	0	0	0	0	1	0	調査・研究補助員

5 役付職員の調べ

(平成30年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間	備考
所長	北村 順一	年 月 0 3	
発掘事業室長	松井 潔	年 月 2 3	
次長(兼)係長	高田 章弘	年 月 0 3	出納員

6 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
鳥取県の考古学情報発信事業	12,120	5,239	6,872	9
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県民の方々に鳥取県の考古学に関する様々な情報を積極的に発信する。 ○埋蔵文化財センター等に保管されている出土品や調査記録などを積極的に活用し、児童・生徒を始めとする県民の方々に郷土の歴史や地域の埋蔵文化財への認識を深めていただく。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ○展示見学活用事業 <ul style="list-style-type: none"> ・「来て!見て!!さわって!!!とっとり考古学講座」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 会場：イオン鳥取北店 会期：H29. 7. 28～30 来場者：568人 会場：パープルタウン 会期：H29. 12. 23～25 来場者：239人 会場：イオン日吉津店 会期：H30. 2. 16～18 来場者：160人 ・「埋蔵文化財センター常設展」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 会場：埋蔵文化財センター 会期：H29. 4. 1～H30. 3. 31 来場者：1,147人 ・埋蔵文化財センターでの見学・体験学習へ対応を行った。 ・「埋蔵文化財センター古代まつり」を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 会場：埋蔵文化財センター 会期：H29. 8. 5 来場者：605人 ・「女子群像」板絵フォーラムを開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 会場：ギャラリーよみうり 会期：H29. 6. 4 来場者：160人 ・出土資料等の再整理・復元・公開を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> 再整理・復元出土品数： 土器 46点 木製品 2点 ○歴史授業（小・中・高校）への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・教育センターと連携して教員研修を開催した。 ・授業づくりについて相談のあった学校と連携して授業づくりを実施した。 ○「古代歴史への誘い」事業 <ul style="list-style-type: none"> ・出前講演を実施した。（文化財主事による鳥取県の考古学情報発信） <ul style="list-style-type: none"> 出前講演回数：32回（県内 27回 県外 5回） ○市町村等への支援 <ul style="list-style-type: none"> ・出土品等の貸出し、試掘調査等への技術的支援を行った。 ○普及資料刊行事業 <ul style="list-style-type: none"> ・普及冊子「とっとり考古学紀行」を年3回刊行した。 <p>イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当センターを会場に開催した「埋蔵文化財センター古代まつり」において、新体験コーナーを増やすなど充実を図った。 ・「来て!見て!!さわって!!!とっとり考古学講座」では、むきぼんだ史跡公園と共同で青谷上寺地遺跡、妻木晩田遺跡を中心に県内の遺跡について展示し、今まで以上の情報発信を行った。 ・県内の発掘調査成果を県外の方々にも分かりやすく知ってもらうことを目的として、青谷横木遺跡「女子群像」板絵フォーラムを開催した。 				

- ・教育センターと連携して教員研修を開催し、学校の授業での出土品の活用方法について情報発信した。

ウ 成果及び効果

- 「来て！見て！！さわって！！とっとり考古学講座」の開催
多くの方々に、気軽に埋蔵文化財の展示を見てもらい、郷土の文化財への関心を喚起する機会を提供できた。タッチングコーナーの来場者数は、東部568名、中部239名、西部160名と好評を得ることができた。
- 「埋蔵文化財センター古代まつり」の開催
県民の方々に考古学や埋蔵文化財を身近に感じてもらうため、模擬発掘体験コーナーや土器パズルタイムトライアルコーナーなどの体験型イベントを605名の方々に体験していただくことができた。
- 青谷横木遺跡「女子群像」板絵フォーラムの開催
最新の発掘調査成果を盛り込んだフォーラムを開催した結果、来場者160名と好評を得ることができた。
- 鳥取県の考古学情報発信「古代歴史への誘い」
計32回の出前講演を行い、県内外に広く県内の遺跡について情報発信を行った。

エ 課題

「展示見学活用事業」において、最新の発掘調査成果を常設展で展示公開しており、フェイスブック、ホームページでもPRしているが、来客者・見学・体験学習者の数は低調であり、より一層、県内外及び学校等へ当センターの利用を働きかける必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
埋蔵文化財専門職員研修事業	152		152	
鳥取元気プロジェクト		-		
元気づくり総合戦略		-		
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
○県内の埋蔵文化財担当者等を対象として、埋蔵文化財の発掘調査を迅速かつ適正に進めるための研修を行い、発掘調査の実施に必要な専門知識と技能の習得及びその向上を図る。				
(イ) 事業の実施状況				
・「遺物調査検討課程」を開催した。 会場：埋蔵文化財センター 会期：H29. 12. 19 参加者数：18人				
・「発掘技術検討課程」を開催した。 会場：鳥取県教育センター 会期：H30. 2. 15 参加者数：20人				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点				
「遺物調査検討課程」では、近年の発掘調査で多く出土した墨書土器にスポットをあて、講演や事例発表を実施した。また、赤外線撮影装置の操作方法について講習した。				
「発掘技術検討課程」では、近年の測量技術で実施されつつあり、注目を浴びている「三次元測量」の原理や実例の講義、実習を行った。				
ウ 成果及び効果				
○遺物調査検討課程 墨書土器の調査方法を理解することができたとともに、赤外線撮影装置の操作方法についても理解することができた。研修資料には、これまでに因幡・伯耆で出土した全資料を掲載することにより、今後も活用できる資料とすることができた。				
○発掘技術検討課程 デジタルカメラを用いた簡便な方法で精度の高い三次元測量が可能となったことで、発掘調査の効率化を進めることができた。また、当センターで解析作業を担うことによって、市町村支援にもつながることができた。				
エ 課題				
今後も市町村埋蔵文化財担当職員のニーズに即したテーマとなるよう検討することが必要である。				

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
青谷横木遺跡「女子群像」板絵情報発信事業	969	128	841	
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
○全国2例目となる青谷横木遺跡出土「女子群像」板絵について、高松塚古墳や高句麗壁画古墳の「女子群像」と比較検討し、その謎にせまる。				
○シンポジウムの開催やパンフレットによるPRを通じて、貴重な出土品である「女子群像」板絵からわかる当県の歴史を多くの県民が知る機会を作り、郷土愛の醸成を図る。				
(イ) 事業の実施状況				
○青谷横木遺跡「女子群像」板絵シンポジウム				
・シンポジウムを開催した。				
会場：とりぎん文化会館小ホール 会期：H29.9.10 参加者数：320人				
○普及啓発パンフレット作成				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善に取り組んだ点				
○ポスター、チラシ、ホームページのほか、テレビやラジオ、生涯学習講座で広報活動を行い、多くの県民にシンポジウム開催をPRした。				
○「女子群像」板絵の理解をより深めるため、古代衣装を着たスタッフを登壇させた。				
ウ 成果及び効果				
○320名の方に御来場いただき、アンケート結果からも非常に満足していただけるシンポジウムにすることができた。				
○パンフレットも同時に配布することによって、シンポジウム内容がより理解しやすくなった。				
エ 課題				
非常に好評を得たシンポジウム、パンフレットであったが、一過性に終わることなく、引き続き普及啓発を行うことが必要である。				

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
「とっとり弥生の王国」普及活用事業 (青谷上寺地遺跡活用事業)	435		435	
鳥取元気プロジェクト		-		
元気づくり総合戦略		-		

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- 鳥取県内にある国内最大級の弥生時代集落「妻木晩田遺跡」、保存状態が良く多種多様な遺物が出土することから地下の弥生博物館とも呼ばれる「青谷上寺地遺跡」の2大遺跡を「とっとり弥生の王国」として位置づけ、各遺跡を活用したイベント・体験事業等を通じて史跡の活用を図る。

(イ) 事業の実施状況

- とっとり弥生の王国青谷かみじち遺跡土曜講座
青谷上寺地遺跡の最新の調査研究成果について、分かりやすく情報発信した。
会場：鳥取市青谷町総合支所多目的ホール
講師：鳥取県埋蔵文化財センター職員、外部講師（特別講演）

	開催日	内容	参加者数
第1回	5月27日	野外講座 ぶらっと青谷れきし学	31人
第2回	7月22日	講演 倭人の食卓に学ぶ	47人
第3回	9月16日	トークセッション 「海の村青谷上寺地遺跡、山の村妻木晩田遺跡」(パート2)	45人
第4回	11月25日	特別講演&トークセッション 「青谷びとが描いた世界～青谷上寺地遺跡と青谷横木遺跡～」	57人
第5回	1月20日	平成29年度発掘調査成果	63人
		計	243人

- とっとり弥生の王国をもっと知ってもらおう情報発信
とっとり弥生の王国をPRするため、県内外のイベント等に、青谷上寺地遺跡出土の弥生時代の琴をモデルにしたペーパークラフトの琴づくり体験を出展した。(9月3日 青谷にぎわい創出実行委員会主催「青谷ようこそ市場」参加者47名、2月4日 徳島県埋蔵文化財センター主催「おもしろ古代体験」参加者35名)

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- 青谷かみじち遺跡土曜講座については、座学形式に加えて新たに屋外での歴史探訪ウォークを企画し、参加者に青谷の文化や歴史の魅力を実地に体感していただいた。また、特別講演&トークセッションでは美術の専門家に出演いただき、考古学とは異なる観点から青谷上寺地遺跡の魅力を語っていただいた。
- とっとり弥生の王国をさらにPRするため、自主事業(古代まつり、むきばんだまつりなど)以外への古代体験の出展に努めた。

ウ 成果及び効果

- ・ 青谷かみじち遺跡土曜講座の参加者へのアンケート結果で新たな取り組みも含めて大変好評を博し、今後も講座に参加したい旨の回答を多数得ており、青谷上寺地遺跡への理解や興味関心を深めていただけた。
- ・ 青谷上寺地遺跡を知らない方、遺跡に特に興味を持っているわけではない方にも、青谷上寺地遺跡を知っていただくきっかけを提供することができた。

エ 課題

- ・ 現在史跡整備を進めている青谷上寺地遺跡を、今後さらに地域振興に寄与するものにしていくためには、地元である青谷地域の方々に史跡の利活用に積極的に参画してもらうことが重要である。参画の気運を醸成するためにも、青谷上寺地遺跡についての理解が十分浸透しているとは言えない青谷地域の方々に、史跡にもっと関心をもってもらい、その重要性を知っていただくことが必要である。
- ・ 多くの方に史跡に訪れていただくために、日頃から青谷上寺地遺跡に注目を集めることが重要であり、そのためには新たな出土品の発見などが見込まれる発掘調査の最新情報など、鮮度の高い情報の発信が重要である。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
青谷上寺地遺跡発掘調査事業	66,749	31,332	35,402	15
鳥取元気プロジェクト		-		
元気づくり総合戦略		-		

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

- 国史跡青谷上寺地遺跡を整備・活用していくために必要なデータを得る。
- 遺跡の詳細な内容を確認し、「交易拠点としての港湾集落」の構造や景観などの実態解明を図る。

<参考>

○青谷上寺地遺跡の発掘調査経過

区分	年度	主な調査目的
	H10～H13年度	道路建設に先立つ事前の発掘調査（第1次調査）
第一期調査	H13～H17年度	遺跡の範囲確認（第2次～第7次調査）
第二期調査	H18～H20年度	遺跡の成り立ちと中心域縁辺の様相の解明、周辺関連遺跡の確認（第8次～第10次調査）
第三期調査	H21年度～	弥生時代後期後葉の集落全体像の解明（第11次調査～）

※平成27年度：整備計画の変更（分割整備から一括整備へ）に伴う発掘調査計画の見直し作業

※平成28年度：整備基本設計着手

○青谷上寺地遺跡の範囲

- ・遺跡面積 約33ha
- ・史跡指定面積 約14ha
- ※史跡指定：平成20年3月28日
- 追加指定：平成22年8月5日
- 同23年9月21日
- 同25年10月17日
- 同26年10月6日
- ・調査済面積：約1.9ha（遺跡全体の約13.6%）

(イ) 事業の実施状況

○発掘調査

弥生時代後期（2～3世紀）の集落像を解明し、史跡整備に反映させるための発掘調査を実施した。

調査の名称	青谷上寺地遺跡第17次調査
調査の位置付け	史跡等内容確認調査（史跡としての整備活用に必要なデータを収集するための発掘調査）
調査の目的	遺跡中心域（人々の活動の舞台となった微高地）西側における集落様相の解明 （1）弥生時代後期（2～3世紀）の「中心域」内部における集落機能の確認 （2）微高地の形成及び「中心域」の成り立ち、土地利用の変遷の解明
調査面積	525㎡（35×15m）
調査期間	平成29年4月1日～12月22日
調査公開期間	平成29年5月29日～12月22日（見学者数364名）
現地説明会	平成29年10月7日開催（参加者数90名）

○埋蔵環境調査

良好に保たれている埋蔵環境を監視するために、地下水観測等を継続して実施した。

- ・水位観測

- ・水質調査（pH、酸化還元電位、溶存酸素量）

○出土品保存処理

調査研究や活用が可能な状態を後世に引継ぐため、木製品の恒久的な保存処理を業者委託により行った（15点：木器1点、かご1点、鉄器12点、青銅器1点）。

イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

○発掘調査

国史跡である青谷上寺地遺跡の発掘調査の効率化と調査精度の向上を図ってよりよい成果を得るため、発掘作業員の調達及びその労務管理、発掘現場の安全管理、その他調査補助を一括して専門の業者に委託した（発掘調査管理委託業務）。

ウ 成果及び効果

○発掘調査

- ・遺跡中心域内が、弥生時代において他地域との交流やものづくりの拠点であったことを示す遺構、遺物を検出した。
- ・銅鏃の出土数が過去の調査を含め累計63点（国内3番目の出土数）に上り、日本各地の特徴を示す様々な形態をみせることや、中国地方以西では初となる近畿型銅戈の破片が出土するなど、他地域との盛んな交流が窺われる遺物を検出した。
- ・石製やガラス製の玉類が200点以上出土しているほか、玉の未製品や玉に孔をあけるための石製の針なども出土し、集落内におけるものづくりの様相の一端が示された。
- ・遺跡が、弥生時代前期末葉（紀元前4世紀ごろ）から古代まで長きにわたって存続した集落であることを確認した。

○埋蔵環境調査

- ・地下水の状況が良好な状態で保たれていることを確認した。

○出土品保存処理

- ・処理を行った資料を今後の調査研究や展示に活用することが可能となった。

エ 課題

○発掘調査

- ・国史跡内にあって重要な遺構・遺物の検出が予想され、効率的でより精度の高い調査を実施することが求められるが、そのためには文化財主事がより調査に専念できる環境を整えることが必要である。今回導入した専門業者への発掘調査支援委託は有効であったが、出土品の取り上げなど、仕様の見直しによってさらなる効率化が可能となる業務もあり、検討を図る必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
青谷上寺地遺跡出土品調査研究等事業	22,991	7,583	15,363	45
鳥取元気プロジェクト	-			
元気づくり総合戦略	-			
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
○青谷上寺地遺跡の出土品が持つ豊富な情報を活用できるよう、出土品の整理及び調査・研究を行う。				
(イ) 事業の実施状況				
○出土品の調査研究				
・土器(貝塚出土土器)、木器(祭祀具、食器具、武具等)の再整理と再収納				
・青谷上寺地遺跡出土品データベースの更新				
・他機関との共同研究による出土品(漆塗り土器、炭化米)の科学分析				
○海外との調査研究交流				
・海外(韓国)との調査研究交流をより充実した取り組みとするため、訪日中だった国立慶州文化財研究所古環境研究チームと協議を行い、職員相互派遣による連携事業や、将来、共通テーマを設け共同研究等を推進する可能性について検討を行った。				
○出土品のレプリカ作製				
・木器5点、骨角器1点、計6点のレプリカを作成した。				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
○青谷上寺地遺跡出土品の科学分析を、他の専門機関と共同研究で取り組んで成果の共有を図り、青谷上寺地遺跡の実態解明につながるデータの蓄積に努めた。				
○海外との調査研究交流について、従来の資料調査・訪問先機関との情報交換というあり方から、共同研究を視野に入れた研究交流へと進展させてより充実した取り組みとするため、研究テーマの共有の可能性、継続的な交流の可能性などを検討し、国立慶州文化財研究所古環境チームとの協議を行った。				
ウ 成果及び課題				
○出土品の調査研究				
・共同研究による出土品の科学分析により、考古学的調査だけでは得られない新たな情報が蓄積されている。				
・公開中の出土品データベースについては、開設当初からアクセスが継続しており、多くの方に出土品の情報を利用いただいている。				
<p> 建築部材DB総アクセス数 : 108,381件(H29:639件) 骨角器DB総アクセス数 : 45,905件(H29:659件) 金属器DB総アクセス数 : 33,077件(H29:825件) 木器DB総アクセス数 : 20,417件(H29:841件) 玉作関連遺物DB総アクセス数 : 2,503件(H29:408件) 石器DB総アクセス数 : 1,746件(H29:416件) </p>				
○海外との調査研究交流				
・平成30年度に慶州で開催される国際学術シンポジウムに招待され、青谷上寺地遺跡などにおける古環境研究の成果と史跡整備・活用に関する研究発表を行うこととなり、交流が深化した。				

○出土品のレプリカ作製

- ・レプリカの作成により、保存状態や展示環境の関係で実物が展示できない資料についても展示、貸出が可能となった。

エ 課 題

- ・これまでは出土品の種別（石器、木器等）ごとに調査研究を行ってきたが、今後は種別を越えた遺物相互の関連性（石器、鉄器による木器の製作など）について研究を進め、当時の人々の具体的な生活の様相を解明していく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
史跡青谷上寺地遺跡整備事業	9,383	4,595	3,303	1,485
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
<p>保存状態の良い多種多様な遺物が出土することから「地下の弥生博物館」と称される国史跡青谷上寺地遺跡ならではの史跡整備を行うため、整備活用基本計画の詳細化を行い、整備の基本設計を進める。</p> <p>〔今後の予定〕</p> <p>H31～ 実施設計・整備工事 事業費の1/2は国庫補助</p>				
(イ) 事業の実施状況				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷上寺地遺跡整備活用基本計画及び基本設計業務 ・とっとり弥生の王国調査整備活用委員会の開催 <p>第2回整備活用部会 開催日 平成29年6月29日 開催場所 鳥取市青谷町総合支所 議事 青谷上寺地遺跡の整備活用基本計画の詳細化について（現状把握と課題分析、基本方針検討） 他</p> <p>第3回整備活用部会 開催日 平成29年9月27日 開催場所 鳥取市青谷町総合支所 議事 青谷上寺地遺跡の整備活用基本計画の詳細化について（活用の基本方針・基本計画、全体整備計画案） 他</p> <p>第4回整備活用部会 開催日 平成30年度3月11日 開催場所 鳥取県埋蔵文化財センター 議事 青谷上寺地遺跡の整備活用基本計画の詳細化について（整備のゾーニング案） 他</p>				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
<ul style="list-style-type: none"> ・埋蔵文化財センターとむきばんだ史跡公園で分担して行っている委員会の部会運営の円滑化を図るため、両所が隔年で事務を一元的に担当するなどの仕組みづくりをむきばんだ史跡公園と連携しながら検討した。 				
ウ 成果及び効果				
<ul style="list-style-type: none"> ・青谷上寺地遺跡の特性を活かした史跡整備・活用に向けて議論を深めた。 ・現在、基本設計業務を継続中。 				
エ 課題				
<ul style="list-style-type: none"> ・史跡を今後さらに地域振興に寄与するものとするためには、地元である青谷地域の方々に史跡の利活用に積極的に参画してもらうことが重要であり、そのための仕組み作りを検討する必要がある。 ・来訪者にまた来たいと思ってもらえる史跡を目指すとともに、地元の方々にいつまでも興味関心を持ち続けてもらうためには、整備完成後でも新たな調査研究成果の発信やより魅力的な活用事業の導入に柔軟に対応できる更新可能な整備を考える必要がある。 				

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
受託発掘調査事業(山陰道「鳥取西道路」)	206,456		64,641	141,815
鳥取元気プロジェクト		-		
元気づくり総合戦略		-		
(概要)				
ア 目的及び事業の実施状況				
(ア) 目的				
・「鳥取西道路」改築事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び整理・報告書作成業務。				
(イ) 事業の実施状況				
・「青谷横木遺跡」と「会下・郡家遺跡」の発掘調査報告書を刊行した。				
・上記遺跡のほか「下坂本清合遺跡」と、「乙亥正屋敷廻遺跡」の出土品整理作業及び報告書作成を実施。				
イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点				
・整理作業期間が極めてタイトなため、業務の迅速化、効率化を図る観点から業者への再委託を積極的に行った。(例)保存処理業務、実測・トレース・編集図作成業務、自然化学分析業務				
・独立行政法人国立文化財機構「奈良文化財研究所」と共同調査研究を行うことで、発掘調査成果の精度向上を図った。				
ウ 成果及び効果				
・報告書作成業務を入札不調により一部次年度送りにした以外は、概ね工程どおりに進捗できた。				
エ 課題				
・「下坂本清合遺跡」の発掘調査報告書を今年度末に刊行する予定だったが、印刷・製本業務の入札において不落札となり、報告書刊行を次年度に見送らざるを得なかったため、次年度に報告書の印刷発注業務を行う必要がある。				
・整理・報告書作成業務では、工程の制約から、各遺跡を最も特徴づける出土品に絞った図化等の限定的な記録化しかできていない。今後は、その他の出土品の活用を図るため、まずは出土品の図化等の調査・研究を進め、適切な価値づけを行う必要がある。				
・報告書刊行後は、残されたその他の膨大な量の出土品の整理業務(保存処理、実測・トレース、記録写真撮影等)を継続して行うことで、「国民共有の財産」(文化財保護法)である埋蔵文化財の調査成果を広く県民に還元し、教育のみならず地域振興や観光の素材等としても幅広く活用していく業務に積極的に取り組む必要がある。				

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳		
		国庫支出金	一般財源	その他
受託発掘調査事業（中央病院建替整備事業）	7,823			7,823
鳥取元気プロジェクト		—		
元気づくり総合戦略		—		
<p>(概要)</p> <p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立中央病院新病院建設事業に伴う埋蔵文化財の発掘調査及び整理・報告書作成業務。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・印刷・発注の入札の結果、不落札となったことから、平成30年度に病院局が報告書を刊行する予定である。 <p>イ 平成29年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出土品の実測・トレース作業において、手測りと写真実測を併用する等、作業の迅速化・効率化を図った。 <p>ウ 成果及び効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告書の版下原稿の作成及び出土品等の移管作業を完了した。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記のとおり印刷・製本が行えず、報告書の刊行に至らなかった。 				

7 収入証紙取扱額調べ 該当なし

8 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金 該当なし

(2) 使用料

(平成30年5月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産 使用料	行政財産 使用料	(電柱用地使用料)	4	18,000	18,000	0	0	鳥取県公有財産 事務取扱規則	
		(駐車場使用料)	379	1,529,400	1,529,400	0	0	鳥取県行政財産 使用料条例	
		計(節)	383	1,547,400	1,547,400	0	0		
		目計	383	1,547,400	1,547,400	0	0		
		合計	383	1,547,400	1,547,400	0	0		

(3) 手数料 該当なし

(4) 財産収入

(平成30年5月31日現在)
(単位：円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
物品売払 収入	物品売払収入		91	513,542	513,542	0	0	県刊行物作成要領	書籍販売代金
		計(節)	91	513,542	513,542	0	0		
		目計	91	513,542	513,542	0	0		
		合計	91	513,542	513,542	0	0		

(5) 諸収入

(平成30年5月31日現在)

(単位:円)

収入目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令等	備考
	節	目							
発掘調査受託事業収入	発掘調査受託事業収入		1	141,661,414	141,661,414	0	0	発掘調査委託契約書	山陰道建設に係る国交省からの受託分
		目計	1	141,661,414	141,661,414	0	0		
雑入	雑入		1	2,920	2,920	0	0		過年度所得税過誤納分戻入
		目計	3	505	505	0	0	行政財産許可証	行政財産使用に係る光熱水費等負担分
目計			14	6,270	6,270	0	0		刊行物送料
合計			18	9,695	9,695	0	0		
合計			19	141,671,109	141,671,109	0	0		

(6) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況

(平成30年5月31日現在)

収入科目(節)	収入済額(円)	件数(件)	備考
物品売払収入	143,800	72	書籍販売代金
雑入	6,270	14	送料
合計	150,070	86	

イ 釣り銭の状況

(平成30年5月31日現在)

釣り銭の有無	無	釣り銭の額(円)	0
--------	---	----------	---

9 収入未済額調べ

該当なし

10 未収金回収促進のための取組状況調べ 該当なし

11 不納欠損額調べ 該当なし

1.2 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ
 (1) 負担金

(平成30年5月31日現在)
 (単位：円)

予算科目 (目)	予算額令達額	負担金の名称	支出先	担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠法令等 (規約、要領等を含む)	備考
埋蔵文化財センター費 新規以外のもの						2,705,887		—
目計						2,705,887		
合計						2,705,887		

(2) 補助金 該当なし

(3) 交付金 該当なし

(4) 委託料

(平成30年5月31日現在) (単位:円)

予算科目 (目)	国補 単 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約		入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日) 契約形態	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考	
				予定価格	契約年月日) 契約額			契約 期間	支出 区分	支出 年月日		金額
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺跡 整備活用基本計 画及び基本設計 業務委託	(株)文化財 保存計画協会	22,788,000	(H28.9.9) 21,610,800 (H29.1.16) 23,072,040	H28.9.9 ~H31.3.15	H30.3.15 H30.3.16	精	H30.4.27	8,232,840	文書ID 16-00137156 プロポーザル	
文化財保護費	国補	史跡青谷上寺 地遺跡第17 次発掘調査管 理委託	安西工業(株) 鳥取支店	42,703,200	(H29.5.1) 41,040,000 (H30.2.22) 47,751,120	H29.5.1 ~H30.2.26	H30.2.26 H30.3.5	精	H30.3.16	47,751,120	17-00024439	
文化財保護費	国補	青谷上寺地遺 跡構造確認ホ ーリング調査 業務	(株)ウエス コ鳥取支社	2,482,920	(H29.6.6) 2,160,000 (H29.7.12) 2,061,720	H29.6.6 ~H29.7.14	H29.7.14 H29.7.21	精	H29.8.10	2,061,720	17-00055896	
文化財保護費	単 単	青谷上寺地遺 跡地下水位観 測業務	(株)ウエス コ鳥取支社	1,944,000	(H29.4.1) 1,620,000 ()	H29.4.1 ~H30.3.31	H30.3.31 H30.4.3	精	H30.4.27	1,620,000	16-00183025	
文化財保護費	単 単	青谷上寺地遺 跡出土遺物レ プリカ7点	(株)文化財 ユニオン	3,564,000	(H29.10.23) 2,797,200 ()	H29.10.23 ~H30.3.28	H30.3.9 H30.3.9	精	H30.4.12	2,797,200	17-00294316	
上記の外、契 約額が250万円 未済のもの										3,747,060		
目計										66,209,940		

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日)	完了 年月日 履行検査 年月日	支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 契約額	契約 期間			支出 区分	支出 年月日	金額	
埋蔵文化財セン ター費	国補	【委託】乙亥正屋敷廻遺跡出土土器実測図、トレース及び編集図作成業務	株式会社島田組鳥取営業所 所長溝川伸浩	23,720,040 (H29.4.3) 23,544,000 (H29.10.5) 30,348,000	H29.4.3 ~H30.10.30	H29.3.3 (免除)	H30.3.9外	H30.3.23 外	30,348,000	文書ID 17-00071215		
埋蔵文化財セン ター費	国補	【西道路】青谷横木遺跡出土木製品実測図、トレース及び編集図作成業務	ナカシヤクリ エイテブ株式 会社 代表取締役 山口 寛	18,858,960 (H29.4.3) 18,144,000	H29.4.3 ~H29.10.30	H29.3.13 (免除)	H29.10.30	H29.12.1	18,144,000	17-0071153		
埋蔵文化財セ ンター費	国補	【西道路】青谷横木遺跡出土土器実測図トレース及び編集図作成業務	株式会社了コ ード鳥取営業 所 所長稲垣耕作	12,990,240 (H29.4.3) 12,420,000	H29.4.3 ~H29.10.30	H29.3.13 (免除)	H29.10.30	H29.12.1	12,420,000	17-00071247		
埋蔵文化財セ ンター費	国補	【西道路】乙亥正屋敷廻遺跡出土木製品保存処理業務	株式会社吉田 生物研究所 代表取締役 吉田秀男	19,570,000 (H29.7.12) 12,085,200	H29.7.12 ~ H30.3.12	H29.7.7 (免除)	H30.3.12	H30.3.30	12,085,200	17-00087391		
埋蔵文化財セ ンター費	国補	乙亥正屋敷廻遺跡出土木製品実測、トレース及び編集図作成業務	株式会社イビ ソク鳥取営業 所 所長村上真仁	8,235,000 (H29.10.30) 6,264,000 (H30.1.11) 8,100,000	H29.10.30 ~ H30.2.23 H29.10.30 ~H30.3.12	H29.10.24 (免除)	H30.3.12外	H30.4.9 外	8,100,000	17-00170793		

予算科目 (目)	国補 単 の別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当 初 契 約			入札等 年月日 (契約保証金 納付等年月日) 契約形態	完 了 年 月 日 履行検査 年月日	支 出 の 状 況			備 考		
				予定価格	契約年月日) 契 約 額	契 約 期 間			支出 区分	支 出 年 月 日	金 額			
													変 更 契 約 (最 終)	
													契 約 年 月 日	契 約 額
埋蔵文化財セ ンター費	国補	【委託】会下・郡 家遺跡出土木製品 実測図トレス業 務	安西工業株式 会社鳥取支店 支店長 宮協賢吾	4,683,960	(H29.4.3) 4,428,000	H29.4.3~ H29.7.7	H29.3.13 (免除)	H29.7.7	精	H29.7.19	4,428,000	17-00071232		
					()		指	H29.7.7						
埋蔵文化財セ ンター費	国補	乙亥正屋敷廻 遺跡出土木製 品保存処理業 務	株式会社イビ ソク鳥取営業 所 所長村上真仁	11,988,000	(H29.8.24) 3,942,000	H29.9.8~ H30.3.12	H29.8.18 (免除)	H30.3.12	精	H30.4.9	3,942,000	17-00116961		
					()		指	H30.3.16						
埋蔵文化財セ ンター費	国補	【負担行為】【西道 路】青谷横木遺跡 出土木製品保存処 理業務	一般社団法人 文化財科学研 究センター 代表理事 金原正子	5,278,500	(H29.7.20) 3,553,200	H29.7.20~ H30.3.12	H29.7.13 (免除)	H30.3.12	精	H30.4.9	3,553,200	17-00092051		
					()		指	H30.3.12						
上記の外、契約 額が250万円未満 のもの											12,546,259			
目 計											105,566,659			
合 計											171,776,599			

該当なし

14 財産に関する調べ

(1) 公有財産

了 土地

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況				本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	増減 別	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日		面積 (㎡)
行政 財産	埋蔵文化財 センター	鳥取市国府町 宮下1260番地	5,720.49	70,500,864	増加					5,720.49	70,500,864	
					減少							
	埋蔵文化財 センター 秋里分室	鳥取市商栄町 390番地	5,722.00	—	増加					5,722.00	—	
					減少							
計	埋蔵文化財 センター 積善分館	鳥取市国府町 宮下1262番地	9,407.14	—	増加					9,407.14	—	
					減少							
合計			20,849.63	70,500,864						20,849.63	70,500,864	
			20,849.63	70,500,864						20,849.63	70,500,864	

イ 建物

(平成30年3月31日現在)

行政・普通 財産の区分	機関名又は 施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況						本年度末		備考	
			面積 (㎡)	価額 (円)	異動日	面積 (㎡)	価額 (円)	増減理由	登記 年月日	面積 (㎡)	価額 (円)			
行政 財産	埋蔵文化財 センター 埋蔵文化財 センター 秋里分室	鳥取市国府町 宮下1260番地 鳥取市商栄町 390番地	1,419.26	—							1,419.26	—		
			1,895.00	6,600,000							1,895.00	6,600,000		
			39.83	5,993,400							39.83	5,993,400		
	埋蔵文化財 センター 青谷調査室	鳥取市青谷町 青谷667番地												
	埋蔵文化財 センター 積善分館	鳥取市国府町 宮下1262番地	2,099.19	—							2,099.19	—		
計			5,453.28	12,593,400		0	0			5,453.28	12,593,400			
合計			5,453.28	12,593,400		0	0			5,453.28	12,593,400			

ウ 山林	該当なし
エ 動産（船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機）	該当なし
オ 物権	該当なし
カ 無体財産権（特許権、著作権、商標権、実用新案権等）	該当なし
キ 有価証券	該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成30年5月31日現在)

種 別	前年度末	本 年 度 中		本年度末	備 考
		受 入 額	払 出 額		
郵便切手及び郵便はがき	円 47,729	円 556,787	円 414,849	円 189,667	
収入印紙	0	1,000	1,000	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
合 計	47,729	557,787	415,849	189,667	

イ タクシーチケットの受払状況 該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 了 土地

(平成30年3月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付目的(使用許可)	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の貸付(使用)料	住氏名	所名	
行政財産	電力供給事業	鳥取市国府町宮下1260番地	電柱4本 支柱2本 支線2条	H28.3.28	H13.3.19	H28.4.1 ～ H33.3.31	弁償・年額 12,000	12,000	鳥取市新品治1番地6号 中国電力(株) 鳥取営業所長		
	電力供給事業	鳥取市国府町宮下1262番地	電柱1本 支線1条	H25.3.5	H20.4.1	H25.4.1 ～ H30.3.31	弁償・年額 3,000	3,000	鳥取市新品治1番地6号 中国電力(株) 鳥取営業所長	-	
	電気通信設備設置	鳥取市国府町宮下1262番地	本柱1本	H25.3.5	H20.4.1	H25.4.1 ～ H30.3.31	弁償・年額 1,500	1,500	鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株) 鳥取支店長	-	
	電力供給事業	鳥取市商栄町390番地	支線1条	H27.3.2	H17.3.14	H27.4.1 ～ H32.3.31	弁償・年額 1,500	1,500	鳥取市新品治1番地6号 中国電力(株) 鳥取営業所長	-	
計								18,000			
合計								18,000			

イ 建物

(平成30年3月31日現在)

行政・普通財産の	貸付 (使用許可)	所在地	数量 又は	貸付 (使用許可)	当初貸付 (使用許可)	貸付 (使用許可)	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先		備考
							単価	本年度の 貸付(使用)料	住所		
行政財産	鳥取県東部 ろうあ協会 の活動拠点	鳥取市国府町 宮下1262番地	40.00㎡	H29.3.30	H26.10.29	H29.4.1 ～ H30.3.31	0	0	鳥取市気高町浜村 783-1095 鳥取県東部ろうあ協会 会長	16-00182024	
計								0			
合計								0			

(2) 物品

(平成30年3月31日現在)

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所	氏名			
青谷上寺地 遺跡出土品 レプリカ	34点		H29.4.1 ～ H30.3.31	月額・年額	0	鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館		鳥取県立博物館歴史・民俗展示室他	鳥取県立博物館において 常設展示するため。	
青谷上寺地 遺跡出土品 レプリカ	9点		H29.9.1 ～ H30.8.31	月額・年額	0	鳥取市尚徳町116 鳥取市経済観光部鳥取 砂丘・ジオパーク推進 課		あおや郷土館口ビ ー(鳥取市青谷町青 谷2990-4)	山陰海岸ジオパーク常設 展示ブース(青谷上寺地 遺跡コーナー)において 展示するため	
青谷上寺地 遺跡出土品 レプリカ	3点		H29.8.28 ～ H29.12.1	月額・年額	0	下関市大字綾羅木字岡 454 下関市立考古博物館		下関市立考古博物館 特別企画展示室	下関市立考古博物館平成 29年度特別展 「遙かなる音の世界」 において展示するため	
土器パズル	1点	青谷上寺地遺 跡器台	H29.6.13 ～ H29.7.31	月額・年額	0	鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館		鳥取県立博物館	来館者に土器パズルを体 験してもらうため	
土器パズル	1点	青谷上寺地遺 跡器台	H29.8.30 ～ H29.9.29	月額・年額	0	鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館		鳥取県立博物館	来館者に土器パズルを体 験してもらうため	
土器パズル	1点	青谷上寺地遺 跡弥生土器壺	H30.1.26 ～ H30.4.10	月額・年額	0	鳥取市東町2-124 鳥取県立博物館		鳥取県立博物館	来館者に土器パズルを体 験してもらうため	
合計					0					

16 借受不動産明細調べ

区分	種別	借受(使用)目的	所在地	数量又は面積	契約書の有無	契約の状況			借受先		備考
						借受期間	単価	借料(円)	住氏名	住所名	
土地	宅地	現地事務所	鳥取市気高町新町一丁目6番地ほか	421.87㎡	有	H29.4.1 ～ H30.3.31	月額・年額 215,000	2,580,000 本年度の借料	鳥取市青谷町青谷4022-1 (有)小泉量店 代表取締役 小泉淳一		
土地	雑種地	公用車駐車場	鳥取市気高町新町一丁目5番地	329.00㎡の一部	有	H29.4.1 ～ H30.3.31	月額・年額 60,480	60,480	個人		
建物	SC2階	現地事務所	鳥取市気高町新町一丁目6番地	1F: 251.85㎡ 2F: 150.00㎡の一部	有	H29.4.1 ～ H30.3.31	上記宅地を含む		鳥取市青谷町青谷4022-1 (有)小泉量店 代表取締役 小泉淳一		
建物	RC3階	遺物収蔵庫	鳥取市吉岡温泉町789-1	1,128㎡	有	H27.4.1 ～ H30.3.31	月額・年額 免除	免除	鳥取市尚徳町116 鳥取市 鳥取市長 深澤義彦		
合計								2,640,480			

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅

該当なし

(2) 職員駐車場

ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	鳥取市国府町宮下1260番地(センター本所)	12.5	3,225
	鳥取市国府町宮下1262番地(積善分館)	12.5	3,225
	鳥取市商栄町390番地(秋里分室)	12.5	3,500

イ 異動状況
(行政・普通財産)

月別	前月末		当月減		当月増		当月末		調定額	減免状況	収入済額	収入未済額
	人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免	人	うち減免				
4月	37	2	0	0	0	0	35	0	115,625			
5月	39	0	0	0	4	0	39	0	128,525			
6月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
7月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
8月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
9月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
10月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
11月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
12月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
1月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
2月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
3月	39	0	0	0	0	0	39	0	128,525			
合計									1,529,400		1,529,400円	0円

18 寄附物件の受納状況調べ 該当なし

19 備品の処分状況調べ 該当なし

20 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

(1) 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ 該当なし

(2) 物品の照合

照合年月日	現物確認できなかった物品	現物が確認できなかった物品名	個数
H29年 8月22日	・有 <input type="radio"/> ・無 <input checked="" type="radio"/>		
～			
H29年 8月30日			

2.1 埋蔵文化財の調査と研究

(1) 発掘調査

遺跡名	調査目的	調査面積	内容・成果等
		調査期間	
青谷上寺地遺跡 (鳥取市青谷町内)	史跡整備のための 情報収集	525㎡ 4月1日 ～12月22日	集落内において活動の舞台となった微高地(中心域)内の集落構造を明らかにするための調査を行い、弥生時代において微高地内が他地域との交流やものづくりの拠点であったことを示す遺構、遺物を検出した。銅鏃の出土数が過去の調査を含め累計63点(国内3番目の出土数)に上り、日本各地の特徴を示す様々な形態をみせることや、中国地方以西では初となる近畿型銅戈の破片が出土するなど、他地域との盛んな交流が窺われた。また石製やガラス製の玉類が200点以上出土しているほか、玉の未製品や玉に孔をあけるための石製の針なども出土し、集落内におけるものづくりの様相の一端が示された。

(2) 出土品整理作業・報告書作成作業

遺跡名	調査目的	作業内容
乙亥正屋敷廻遺跡 (鳥取市鹿野町内)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	出土した遺物の図化及び写真撮影を実施。作業の迅速化を図るため、実測、トレース・編集図作成の一部を外部委託を行った。併せて土器付着物の自然科学分析や、脆弱な木製品の保存処理委託を行った。 平成30年度に残りの出土品の図化等の委託を行い、報告書を刊行する予定。
青谷横木遺跡(鳥取市青谷町)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	出土品の整理作業を完了して、報告書を刊行した。出土品の図化作業の迅速化を図るため、実測・トレース及び編集図作成業務の一部の外部委託を行った。併せて試料の年代測定等の自然科学分析委託や、脆弱な木製品の保存処理委託等を行った。
会下・郡家遺跡(鳥取市気高町)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	出土品の整理作業及び移管作業を完了して、報告書を刊行した。整理作業の迅速化を図るため、木製品の实測図のトレース委託を行った。
下坂本清合遺跡 (鳥取市気高町内)	一般国道9号(鳥取西道路)の改築に伴う遺跡の記録保存	出土品の整理作業及び版下原稿の作成等を終え、調査記録類と共に移管作業を完了した。 印刷・製本の発注を行ったところ不落札となったため、報告書の刊行は平成30年度に行うこととなった。
秋里遺跡(松下地区) (鳥取市江津)	県立中央病院建替に伴う遺跡の記録保存	出土品の整理作業及び版下原稿の作成等を終え、調査記録類と共に移管作業を完了した。 印刷・製本の発注を行ったところ、不落札となったため、報告書の刊行は次年度に行うこととなった。

(3) 出土品の調査研究

○青谷上寺地遺跡出土品の調査研究

- ・土器（貝塚出土の土器）、木器（祭祀具、食事具、武具等）について再整理を行った。
- ・漆塗り土器について、明治大学との共同研究により、科学的な分析を行った。
- ・炭化した米について、弘前大学との共同研究により、科学的な分析を行った。

○青谷横木遺跡出土木簡の調査研究

青谷横木遺跡では県内最多の古代木簡が出土。その釈読や保存処理等について、国立文化財機構奈良文化財研究所と「鳥取県鳥取市青谷横木遺跡出土木簡の保存処理等総合的研究」を実施。

2.2 埋蔵文化財保護思想の普及状況

(1) 普及資料の発行等

ア 遺跡地図の改訂

市町村単位で遺跡地図の更新（年度ごとに遺跡の新発見や消滅について登録）を行い、県内の文化財保護部局及び開発部局等に配布。

イ 「とっとり考古学紀行」（年3回、夏号、秋冬号、春号各20,000部程度）の発行

県内外からの観光客に県内の考古学に関する最新の情報を提供するためのリーフレットを夏号、秋冬号及び春号の3回発行し、県内の文化観光施設、旅館組合及び道の駅等に配布。

ウ 図書の刊行

名称	内容等	発行部数		備考
		無償頒布	有償頒布	
青谷上寺地遺跡14 第15・16次発掘調査報告書	平成25年度に実施した第15次発掘調査と平成26年度に実施した第16次発掘調査の調査成果を掲載。 県内外の調査研究機関、県内図書館などに配布。	500部	200部	H29.12月 刊行
青谷上寺地遺跡調査研究年報2016	青谷上寺地遺跡に関連した調査研究の記録、成果を収録。 県内外の調査研究機関、県内図書館などに配布。	500部	50部	H30.3月 刊行

エ ホームページでの遺跡情報発信

遺跡の発掘調査や出土品・展示会の情報を逐次発信している。

オ 鳥取県の考古学情報の発信「古代歴史への誘い」事業（出前講演）の実施

文化財主事が県内外に出掛け、鳥取県の優れた埋蔵文化財に関する講演（県内27回、県外5回で延べ32回）を行い、鳥取県を全国にアピールした。

県内出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
鳥取市	古代国家成立前夜のとっとり ～前方後円墳から古代寺院へ～	40名
大山町	「大山開山1300年」に向けて ～古から現代まで連綿と続く大山と出雲の物語～	94名
鳥取市	発掘調査からみた古代の鳥取について	40名
鳥取市	青谷横木遺跡の発掘調査結果 ～飛鳥時代から平安時代を中心に～	17名
鳥取市	発掘調査から見てきた 青谷上寺地のものづくり	29名
湯梨浜町	日本遺産について	16名
琴浦町	砂に埋もれた大集落 ～長瀬高浜遺跡の紹介～	20名
鳥取市	日本遺産制度とこれからの文化財活用	114名
琴浦町	戦国の知将 亀井茲矩	18名
鳥取市	青谷上寺地遺跡の整備活用計画について	37名
鳥取市	史跡と考古ツアー (安来市→松江市→倉吉市→鳥取市)	30名
米子市	発掘調査から見てきた弥生時代の青谷上寺地	33名
琴浦町	鳥取県の庭園文化史	12名
米子市	米子の弥生時代を探る - 弥生集落の発掘調査 -	20名
鳥取市	ぶらっと青谷れきし学	30名
琴浦町	埋められた大量の銭貨	15名
鳥取市	青谷横木遺跡の発掘調査成果	50名
鳥取市	古代の青谷像 (仮)	41名
琴浦町	白鳳の精華 ～上淀廃寺跡にみる古代寺院の実像～	30名
鳥取市	鳥取西道路の改築工事に伴う発掘調査成果について～気高町近隣の遺跡を中心に～	36名
湯梨浜町	中世の食事の話 ～グルメな古代・中世の人々～	76名
倉吉市	まちを歩いて、地域のお宝を探そう！	60名
米子市	「山陰の鷗尾」基調講演 トークセッション「鷗尾が物語る上淀廃寺」のコメンテーター	60名
鳥取市	地域(中ノ郷)に残る知られざる歴史	20名
智頭町	青谷横木遺跡からみた古代山陰道のすがた	20名
伯耆町	検地帳から中世の景観を復元する	34名

県外出前講演一覧

実施場所	内 容	参加人数
愛知県	地下の弥生博物館・青谷上寺地遺跡を読み解く	17名
大阪府	古代における鳥取と大陸の交流	85名
東京都	鳥取県鳥取市青谷横木遺跡	170名
大阪府	翠鳥園遺跡における石材の調達	30名
愛知県	とっとり古代びと、千年の記憶 ～妻木晩田遺跡・向山古墳群・上淀廃寺～	30名

カ とっとり弥生の王国青谷かみじち遺跡土曜講座の開催

主に地元の方を対象に、最新の調査研究成果を踏まえながら青谷上寺地遺跡の持つ魅力を職員が語る講座を、鳥取市青谷町総合支所多目的ホール等を会場として行った。

回数	開催日	内容	参加人数
第1回	5月27日	野外講座「ぶらっと青谷れきし学」	31人
第2回	7月22日	講演「倭人の食卓に学ぶ」	47人
第3回	9月16日	トークセッション「海の村青谷上寺地遺跡、山の村妻木晩田遺跡」 パート2	45人
第4回	11月25日	特別講演・トークセッション 「青谷びとが描いた世界～青谷上寺地遺跡と青谷横木遺跡～」	57人
第5回	1月20日	平成29年度発掘調査成果「第17次調査の最新速報」	63人

キ 発掘調査現場の公開

遺跡名	調査（公開）期間	人数
青谷上寺地遺跡	5月29日～12月22日	364人

ク 発掘調査現地説明会の開催

遺跡名	日時	人数
青谷上寺地遺跡	10月7日（土）午後1時30分から	90人

(2) 見学者数

ア 埋蔵文化財センター展示室

(平成30年3月31日現在)

(単位：人、件)

一般	児童・生徒	合計	備考
946人	201人	1147人	一般 … 個人892人 児童等 … 団体255人（11件）

イ 青谷調査室収蔵展示室

(平成30年3月31日現在)

(単位：人、件)

一般	児童・生徒	合計	備考
505	126	631	一般 … 個人238人、団体14件（267人） 児童等 … 個人26人、団体4件（100人）

(3) 出前講演（「古代歴史への誘い」事業）参加者数

(平成30年3月31日現在)

(単位：件、人)

	27年度	28年度	29年度	備考
県内	1340	1391	992	
県外	505	422	332	

2.3 埋蔵文化財関係職員等の研修

(平成30年3月31日現在)
(単位：日、人)

研修名	計画 (A)			実績 (B)			(B) - (A)		内容及び会場
	研修期間	日数	人員	研修期間	日数	人員	日数	人員	
遺物調査 検討課程	H29.12.19	1	25	H29.12.19	1	18	1	7	〈内容〉講演や事例発表により、鳥取県内で出土した墨書土器についての知識向上を図った。また、赤外線撮影装置の操作方法を研修した。 〈会場〉埋蔵文化財センター
発掘技術 検討課程	H30.2.15	1	30	H30.2.15	1	20	1	10	〈内容〉近年の発掘調査で実施されつつある「三次元測量」の原理や実例の講義、実習を行い、発掘調査技術の向上を図った。 〈会場〉鳥取県教育センター
合計	-	2	55	-	2	38	2	17	

2.4 文化財保護の資料収集及び活用状況

・写真資料のデジタルデータ化

埋蔵文化財発掘調査の成果品であるポジフィルムが経年劣化する以前に画像をデジタルデータ化し、コンパクトディスクへ保存した（7遺跡の1,687枚を実施）。

2.5 出土品の整理及び公開状況

(1) 土器の復元及び木製品の再整理

- ・展示等で活用するため、遺跡から出土した土器をもとの形に復元した。（2遺跡 46点）
- ・収蔵している木製品の保存性をより高めるため再整理作業を実施した。（1遺跡 2点）

(2) 出土品の展示公開

埋蔵文化財センターが整理を行った出土品を中心に公開した。

展示会名称	会場	会期	内容
来て！見て！！さわって！！とっとり考古学講座	イオン鳥取北店	29.7.28～30	桂見遺跡、高住平田遺跡、秋里遺跡（以上、鳥取市）などの土器と写真パネルを展示した。また、桂見遺跡（鳥取市）、長瀬高浜遺跡（湯梨浜町）などの出土品に触れる体験コーナーや縄文土器の紋様付け体験コーナー、土器パズルチャレンジコーナーを設けた。
	パープルタウン	29.12.23～25	
	イオン日吉津店	30.2.16～18	

埋蔵文化財センター常設展	鳥取県埋蔵文化財センター	H29. 4. 1 ～H30. 3. 31	埋蔵文化財センターの収蔵品である青谷上寺地遺跡、桂見遺跡、青谷横木遺跡、長瀬高浜遺跡、本高古墳群などの出土品を展示し、来所者へ向け県内の遺跡について情報発信をした。
埋蔵文化財センター青谷調査室収蔵展示室常設展示	埋蔵文化財センター青谷調査室収蔵展示室	H29. 4. 1 ～H30. 3. 31	青谷上寺地遺跡で出土した木製品を中心に収蔵を兼ねて約300点を展示公開している。また、E T V特集で取り上げられ、NHKから寄贈を受けた人間国宝製作の作品3点と、その際に併せて復元製作された鉄製品をはじめ、緑土が塗られた楯の復元品、新しく作製したレプリカや過年度に保存処理が終了した木製品についても展示公開している。

(3) 埋蔵文化財センター古代まつりの開催

平成29年8月5日に埋蔵文化財センターにて開催。

模擬発掘体験コーナーやパズル土器タイムトライアルコーナー、弥生の漁師になろう!!コーナーなどの体験型イベントを605人もの来場者のみなさまに体験していただいた。

(4) 考古学フォーラム 青谷横木遺跡「女子群像」板絵フォーラムの開催

平成29年6月4日(日)午後1時から大阪府大阪市のギャラリーよみうりにて開催。

当センター職員の基調報告、百橋明穂 神戸大学名誉教授と猪熊兼勝 京都橘大学名誉教授のお二人による記念講演の後、当センター所長と3人でトークセッションを行った。また、会場外のロビーにて、「女子群像」板絵の実物展示も行い、来場者から大変好評を得た。

(5) 出土品等の貸出

ア 展示への貸出

貸出先	貸出物
鳥取県立博物館	弥生土器1点、土器パズル1点
島根県立古代出雲歴史博物館	豊成叶林遺跡出土旧石器時代遺物ほか47点
鳥取市埋蔵文化財センター	南原千軒遺跡出土瓦質土器ほか25点
鳥取県立博物館	弥生土器1点、土器パズル1点
鳥取県立博物館	青谷上寺地遺跡出土伐採石斧等 計83点
奈良県立橿原考古学研究所附属博物館	青谷上寺地遺跡出土絵画資料 17点
鳥取市ジオパーク推進課	青谷上寺地遺跡出土木器等のレプリカ 9点
鳥取県立博物館	青谷上寺地遺跡出土土器等(レプリカ含む) 84点
鳥取県立博物館	青谷上寺地遺跡出土骨角器 7点
鳥取市歴史博物館	青谷上寺地遺跡出土骨角器 6点
あおや郷土館	青谷上寺地遺跡出土骨角器 6点
下関市立考古博物館	青谷上寺地遺跡出土木器(レプリカ含む) 4点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土青銅器等 29点

イ 授業等への貸出

貸出先	貸出物
鳥取市立国府東小学校	弥生土器ほか 5点
鳥取市立大正小学校	弥生土器1点、貫頭衣23着、復元農耕具3点

ウ 写真ネガ等の貸出

貸出先	貸出物
青谷上寺地遺跡を学ぶ会	青谷上寺地遺跡出土ガラス小玉等写真 計12点
公益財団法人福島県文化振興財団	青谷上寺地遺跡出土かご等写真 計3点
鳥取市歴史博物館	青谷上寺地遺跡出土骨角器写真 計13点
テレコムスタッフ株式会社	青谷上寺地遺跡出土人骨写真 計2点
下関市立考古博物館	青谷上寺地遺跡出土木器写真 計4点
青谷上寺地遺跡を学ぶ会	青谷上寺地遺跡出土骨角器写真 計1点
個人	青谷上寺地遺跡出土木器等写真 計2点
株式会社テレビマンユニオン	青谷上寺地遺跡人骨出土状況等写真 計7点
株式会社日本入試センター	青谷上寺地遺跡出土骨角器写真 計1点
鳥取南海紡績株式会社	青谷上寺地遺跡出土木器等写真 計6点
株式会社テレビ朝日	青谷上寺地遺跡出土人骨写真 計1点
鳥羽市教育委員会	青谷上寺地遺跡出土骨角器等写真 計7点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土骨角器等写真他 計12点
株式会社グレイル	青谷上寺地遺跡人骨出土状況写真 計1点
株式会社ベネッセコーポレーション	青谷上寺地遺跡出土木器写真 計1点
株式会社吉川弘文館	青谷上寺地遺跡出土木器写真 計4点
出雲市役所文化財課	青谷上寺地遺跡出土ガラス製品写真 計3点
オフィス哲舟	青谷上寺地遺跡出土人骨写真 計1点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土木器イラスト画像 計1点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡第17次調査出土青銅器等写真 計26点
青谷上寺地遺跡展示館	青谷上寺地遺跡出土ガラス製品等写真 計29点
株式会社同成社	古代駅路の痕跡写真 計1点
株式会社ゴッズダイナミックワールド	青谷上寺地遺跡人骨出土状況等写真 計5点
株式会社ブルームーン	青谷上寺地遺跡出土木器図面 計1点

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

入札に係る契約の伺いについて、統括審査課の審査に時間を要しており、入札後7日以内に契約書を契約業者に交付が間に合わず、契約業者への対応に苦慮している。

統括審査課の審査は間違い防止の面でも有効な制度であるので、より円滑に審査業務が進むようお願いしたい。

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし